

問1 再生可能エネルギーの一つであり、動植物などの生物資源を原料とするエネルギー源を何といいますか。ブラジルにおいて、サトウキビの絞りかすなどを利用した発電や燃料としての活用が盛んに行われているものを、次のうちから選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)

1. バイオマス発電 2. 風力発電 3. 太陽光発電 4. 地熱発電

問2 日米修好通商条約が結ばれた後の日本の状況として、後の明治初期に見られる「レンガ造りの建物や洋装の人々が行き交う近代的な都市景観」などの変化へとつながる、条約の経済的・制度的な特徴を説明したものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)

1. ハリスが駐日総領事として下田に着任し、幕府との交渉によって日本が持つ領事裁判権を強化することで、外国人とのトラブルを未然に防いだ。
2. 日本が輸出入品の関税を自由に決定できるようになったため、安価な外国製品に高い関税をかけ、国内の伝統産業を保護しながら近代化を進めた。
3. 日本に領事裁判権を認めさせ、さらに関税の税率を日本が決めることができない関税自主権の欠如によって、外国製品が流入しやすい状況となった。
4. アメリカに限定して自由な貿易を許可したため、鎖国体制を維持したまま、江戸の街並みを西洋風に作り替える大規模な都市開発が行われた。

問3 西アジア地域の文化と社会の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 山口県公立入試 類似)

1. キリスト教の教えが政治や法律の根幹となっており、欧米諸国と全く同じライフスタイルが定着している。
2. 古くから仏教の信仰が深く、東アジア諸国と共通する伝統的な生活習慣が社会の主流を占めている。
3. ヒンドゥー教の価値観が社会構造の中心にあり、近代的な都市開発においても寺院の建設が最優先される。
4. 石油資源による経済発展とともに、伝統的なイスラム教の教えが生活や文化の基盤として維持されている。

問4 江戸幕府は1825年に異国船打払令を出して外国船を排除していましたが、その後、清（中国）がイギリスに敗北したアヘン戦争の結果を知ると、その方針を大きく転換させました。このとき幕府が取った対応として、最も適切な説明を選択してください。 (2023年 山口県公立入試 類似)

1. アメリカと日米和親条約を締結し、直ちに下田と箱館の2港を開港した。
2. 異国船打払令をさらに強化し、沿岸部での軍事演習を全国で義務付けた。
3. 鎖国を完全に廃止し、キリスト教の布教を含む全ての交流を自由化した。
4. 遭難した外国船などに対し、薪や水、食料の補給を認める法令を出した。

問5 応仁の乱がその後の日本の文化に与えた影響について、歴史的な背景をふまえた説明として正しいものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)

1. 朝廷が全国の文化人を京都に強制的に集めたことで、地方独自の文化が消滅し、京都一極集中の文化圏が形成された。
2. 戦乱の影響で京都の寺社がすべて消失したため、仏教文化が途絶え、代わりに儒教が地方の武士の間で広まった。
3. 幕府が文化の保護を完全に放棄したため、文化の担い手が武士から農民へと移り、日本独自の国風文化が成立した。
4. 戦火を避けた公家や僧侶などの文化人が地方へ逃れたことで、京都の文化が日本各地に広まるきっかけとなった。

問6 日清戦争後の三国干渉が起こった背景と、その後の日本の動向について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)

1. ポーツマス条約の内容に不満を持ったロシアが、フランスとドイツを誘って日本に領土の返還を迫った。
2. ロシアが主導して遼東半島の返還を要求したため、日本国内ではロシアへの対抗意識が高まり軍備拡張が進んだ。
3. イギリスが主導して台湾の返還を要求したため、日本はこれを受け入れる代わりに日英同盟を締結した。
4. 三国干渉による領土返還の代償として、日本は清から巨額の賠償金を追加で得ることに成功した。

問7 1967年に制定された公害対策基本法は、1993年に「環境基本法」が制定された際に廃止されました。この法律が統合・刷新された理由として、当時の環境政策の変化を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)

1. 産業公害だけでなく、都市型公害や地球温暖化など、より広範な環境問題に対応する必要が生じたため。
2. 公害の被害者救済よりも、企業の経済活動の自由を優先する国際的な合意がなされたため。
3. 環境問題が解決したと判断され、公害対策よりも自然景観の保護を重視する方針に切り替えたため。
4. 公害の発生源が工場などの企業に限定されるようになり、規制を簡素化する必要があったため。

問8 1890年代に国内での生産量が輸入量を上回り、日清戦争後には海外への輸出が本格化した、日本の産業革命を象徴する繊維製品は何ですか。 1899年の輸出総額のうち、約13パーセントを占めていた品目として適切なものを選びなさい。 (2015年 山口県公立入試 類似)

1. 石炭 2. 綿織物 3. 綿糸 4. 生糸

問9 日本が鎌倉時代であった13世紀ごろの世界の情勢を説明した文として、正しいものはどれですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)

1. フランスで市民が蜂起して絶対王政を倒し、自由と平等を掲げる人権宣言が採択された。
2. チンギス・ハンがモンゴルの諸部族を統一し、中央アジアを征服して広大なモンゴル帝国を築いた。
3. コロンブスが大西洋を横断してカリブ海の島に到達し、ヨーロッパ人がアメリカ大陸へ進出するきっかけを作った。
4. 秦の始皇帝が初めて中国を統一し、中央集権的な国家体制を整えて万里の長城を修築した。

問10 製品に欠陥があったことで、消費者が生命や身体、あるいは財産に損害を受けた場合、製造企業の過失（不注意）の有無にかかわらず、その企業に損害賠償の責任を負わせることを定めた法律を何といいますか。 (2015年 山口県公立入試 類似)

1. 独占禁止法 2. 製造物責任法（PL法） 3. 消費者契約法 4. 消費者基本法

問11 日本国憲法では「職業選択の自由」が保障されていますが、医師や運転士のように、実際には国家資格や免許が必要な職業が多く存在します。このように、個人の自由が法律によって一定の制限を受ける理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 山口県公立入試 類似)

1. 特定の家柄や身分を持つ人だけが専門的な職業を独占するため
2. 政府が国民一人ひとりの就職先を管理し、経済を統制するため
3. 社会全体の安全や国民の生命を守るという「公共の福祉」のため
4. 資格試験の受験料を通じて、国の税収を増やすことが目的であるため

問12 律令国家が徴税の基礎としていた戸籍において、10世紀頃には実際の性別とは異なる内容を登録する「偽装」が急増しました。この背景にある、当時の「租」と「調・庸」の負担の違いについて述べた記述として正しいものを選びなさい。 (2024年 山口県公立入試 類似)

1. 「租」は男女共通の負担であったが、「調・庸」は男性のみが負担する義務があった。
2. 「租」は男性のみの負担であったが、「調・庸」は男女に均等に課せられていた。
3. 「租」は土地の面積に応じて課せられたが、「調・庸」は戸籍上の世帯主のみが負担した。
4. 「租」も「調・庸」も男性のみの負担であり、女性には一切の税が課せられていなかった。

問13 13世紀初頭にモンゴルの諸部族を統一し、優れた機動力を持つ軍団を率いて中央アジアなどを征服し、広大なモンゴル帝国を築き上げた人物は誰ですか。 (2015年 山口県公立入試 類似)

1. ナポレオン 2. チンギス・ハン 3. 秦の始皇帝 4. コロンブス

答え合わせ・解説

問1	答え 1 バイオマス発電	動植物などの生物資源（バイオマス）を燃焼させたり、ガス化したりして電気を得る仕組みをバイオマス発電と呼びます。ブラジルは世界有数のサトウキビ生産国という背景を活かし、砂糖を製造した後の絞りかすなどをエネルギー源として有効活用しています。これは石油などの化石燃料に頼らない、持続可能なエネルギー利用の一環として地理の学習において非常に重要な項目です。
問2	答え 3 日本に領事裁判権を認めさせ、さらに関税の税率を日本が決めることができない関税自主権の欠如によって、外国製品が流入しやすい状況となった。	日米修好通商条約によって始まった自由貿易は、日本に不平等な条件を強いるものでした。特に「関税自主権がない」ことは、輸入品の税率を日本が決められないことを意味し、安価な綿製品などが大量に流入して国内産業に影響を与えました。一方で、こうした海外との交流や不平等条約の改正を目指す動きが、後の明治維新や、都市の西洋化（文明開化）といった社会の大きな変化を引き起こす要因となりました。
問3	答え 4 石油資源による経済発展とともに、伝統的なイスラム教の教えが生活や文化の基盤として維持されている。	アラブ首長国連邦を筆頭に、西アジアの産油国では石油輸出で得た莫大な富を背景に、世界最高層のビルを建設するなど急速な近代化が進められてきました。しかし、その一方で精神的な支柱としてはイスラム教が大きな役割を果たしており、伝統的な宗教文化と最先端の経済開発が共存しているのがこの地域の大きな特徴です。
問4	答え 4 遭難した外国船などに対し、薪や水、食料の補給を認める法令を出した	アヘン戦争で大国である清がイギリスの軍事力に圧倒された事実は、江戸幕府に大きな衝撃を与えました。強力な軍事力を持つ西洋諸国を不用意に刺激して戦争になることを恐れた幕府は、1842年に天保の薪水給与令を出し、それまでの強硬な姿勢から、漂流船などへの人道的な支援を認める方針へと転換しました。
問5	答え 4 戦火を避けた公家や僧侶などの文化人が地方へ逃れたことで、京都の文化が日本各地に広まるきっかけとなった。	長引く戦乱によって京都が荒廃したため、多くの公家や文化人が、知己のある有力な守護大名などを頼って地方へ避難しました。これにより、それまで京都に集中していた高度な学問や芸術が地方へ持ち込まれ、地方の城下町などで文化が発展する「文化の地方伝播」が起こりました。
問6	答え 2 ロシアが主導して遼東半島の返還を要求したため、日本国内ではロシアへの対抗意識が高まり軍備拡張が進んだ。	ロシアは自国の南下政策を阻む日本の遼東半島領有を阻止するため、フランス・ドイツとともに干渉を行いました。これに屈した日本国内では「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」を合言葉に、ロシアへの対抗心から軍備拡張を支持する世論が強まり、後の日露戦争へとつながる国際的な緊張関係が生まれました。
問7	答え 1 産業公害だけでなく、都市型公害や地球温暖化など、より広範な環境問題に対応する必要が生じたため。	公害対策基本法は、主に工場の排煙や排水による「産業公害」の防止に重点を置いていました。しかし、生活排水や自動車の排ガスによる「都市型公害」、さらには地球温暖化のような「地球環境問題」が重要視されるようになったことから、それらを包括的に扱うために1993年に環境基本法へと発展的に引き継がれました。
問8	答え 3 綿糸	明治時代の日本では、大阪紡績会社の設立などをきっかけに機械制生産が普及しました。1890年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回り、1890年代後半には輸出量が輸入量を上回るなど、軽工業を中心とした産業革命が進展しました。これに対し、生糸は幕末から明治時代を通じて日本の最大の輸出商品でしたが、輸入量が生産量を上回るといった逆転現象は起きていません。
問9	答え 2 チンギス・ハンがモンゴルの諸部隊を統一し、中央アジアを征服して広大なモンゴル帝国を築いた。	13世紀初頭、チンギス・ハンによってモンゴル帝国が成立すると、その勢力は中央アジアから東ヨーロッパ、中国（元）にまで及びました。この帝国の出現は、日本における元寇（モンゴル襲来）の遠因となるなど、当時の東アジアからヨーロッパに至るまでの国際情勢に決定的な影響を与えました。
問10	答え 2 製造物責任法（PL法）	この法律は、高度化・複雑化する現代の製品において、消費者が企業の過失を証明することが困難であるという背景から制定されました。欠陥商品による被害が発生した際、被害者は企業側の過失を立証しなくても、製品の欠陥と損害の因果関係を証明すれば損害賠償を請求できるようになり、消費者の権利がより強く守られるようになりました。
問11	答え 3 社会全体の安全や国民の生命を守るという「公共の福祉」のため	基本的な人権は最大限尊重されるべきものですが、他人の権利を侵害したり社会を混乱させたりしてはいけません。特に経済活動の自由は、無制限に認めると人々の健康や安全に悪影響を及ぼす恐れがあるため、社会全体の利益を調整する「公共の福祉」という考え方にに基づき、法律による必要最小限の制限（資格制度など）が設けられています。
問12	答え 1 「租」は男女共通の負担であったが、「調・庸」は男性のみが負担する義務があった。	律令制の仕組みでは、口分田を与えられた者は、男女を問わずその面積に応じて「租（稲）」を納める義務がありました。しかし、地方の特産物を納める「調」や、都での労働に代えて布を納める「庸」は、成人男性にのみ課せられていました。男性であると登録されるだけでこれらの重い負担が発生したため、戸籍を書き換えて女性として登録し、税逃れをする者が続出しました。このことは当時の政府の財政に大きな影響を与え、徴税システムそのものの崩壊を招きました。
問13	答え 2 チンギス・ハン	13世紀の初めにモンゴル高原の諸部族をまとめ上げたチンギス・ハンは、強力な騎馬軍団を編成して中央アジアを征服しました。彼の建国したモンゴル帝国は、のちにユーラシア大陸の大部分を支配する大帝国へと成長し、東西の文化交流を促進しました。